

西日本医療サービス株式会社

住所:山陽小野田市大字西高泊 1352 番地 11

事業:クリーニング業、給食受託事業、ホテル業(生活関連サービス業)

労働者数:686人(男性196人、女性490人)



えるぼし認定 第2段階

- 5つの評価項目のうち4つの認定基準を満たし、えるぼし(二つ星)に認定しました。
- 当該企業のえるぼし認定で山口県内の認定企業は14社になりました。
- 事業が「生活関連サービス業」の企業の認定は山口県で初めてとなります。
- 山陽小野田市に本社等を置く企業の認定は今回が初めてとなります。
- 認定基準を満たした評価項目の実績

1 採用

【認定基準】

正社員に占める女性労働者の割合が産業ごとの平均値以上であるとともに、基幹的な雇用管理区分における女性労働者の割合が産業ごとの平均値以上であること。

【実績】

正社員の女性労働者の割合 **60.2%** (産業平均値 41.9%)

基幹的雇用管理区分の女性労働者 **61.7%** (産業平均値 32.3%)

2 労働時間等の働き方

【認定基準】

雇用管理区分ごとの労働者の法定時間外労働・法定休日労働時間の合計時間数の平均が、直近の事業年度の各月ごとに全て45時間未満であること

【実績】※単位「時間」

正職員:総合職本社管轄担当 26.16、総合職シティホテル担当 2.80、総合職ビジネスホテル担当 6.92
一般職事務職 10.75、一般職クリーニング工 17.50、一般職配送員 39.74、一般職寝具集配係 2.47、
一般職薬剤師 0.00、一般職調剤薬局事務員 0.41、一般職栄養業務担当 12.85、一般職調理員 10.91、
一般職アイスクリーム店員 10.60、一般職シティホテル管理担当 0.17、一般職シティホテル宿泊担当 0.25、
一般職シティホテル料飲担当 2.78、一般職ビジネスホテル宿泊担当 6.39
非正規職員:事務職 0.01、クリーニング工 1.98、寝具集配係 1.71、栄養業務担当 0.02、調理員 2.63、
アイスクリーム店員 0.07、シティホテル宿泊担当 0.00、シティホテル料飲担当 0.17、
ビジネスホテル宿泊担当 0.76、本社管轄嘱託社員 12.03、シティホテル嘱託社員 0.27、
ビジネスホテル嘱託社員 0.25

3 管理職比率

【認定基準】

管理職に占める女性割合が産業ごとの平均値以上であること

【実績】

管理職に占める女性の割合

17.6% (産業平均値:12.4%)

4 多様なキャリアコース

【認定基準】

直近の3事業年度に、以下について中小企業は1項目以上の実績を有すること

A 女性の非正社員から正社員への転換	8人
B 女性のキャリアアップに資する雇用管理区分間の転換	6人
C 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用	1人
D おおむね30歳以上の女性の正社員としての採用	66人

【実績】

■事業主の声

弊社は病院・福祉施設向けのクリーニング事業を主体に、医療介護用品の提供、給食受託事業、調剤薬局事業、ホテルや飲食店などを展開しており、その中で様々な年代や経歴の女性従業員が、各部署の主力として多数活躍しています。経営理念には従業員とその家族の恒久的な生活の安定を掲げており、子育て・介護・体調の変化などにより多様な働き方を求める社員が増える中で、特にここ数年は労使一丸となって柔軟な労働環境を整備してまいりました。この度「えるぼし」の認定を頂きましたことを機に、今後は女性の管理職登用や男性の家事・育児参加の環境作りを促進し、高度なダイバーシティ経営により地域社会へ一層貢献いたします。

＜弊社の取り組み＞

●『育児短時間勤務制度』は子どもが小学校4年生になるまで(法定以上)利用できるよう規定しております。また、ほとんどは本人の希望する始業・終業時刻の通りに個別で決定しています。● 法定の『子の看護休暇』を小学校4年生になるまで利用できるようにしており、別に看護以外の理由(育児や行事参加)による『子育て休暇』を設けております。● 有給の『がん検診休暇』を設けております。

■女性管理職の声

私は給食受託部門の責任者として約200人強の従業員と共に、安全で安心な食事提供を行っています。部門の女性従業員は8割を超えており、10代から70代まで幅広い年齢層が活躍しています。病院、施設の食事を担っているため、365日稼働で時間や休日も定まっていませんが、出産を経ても復職しやすいよう勤務時間の調整や時短社員などの環境も整えて、ママさん社員も多く活躍してくれています。年齢層が広い事で結婚、妊娠、出産を経験している従業員も多く、大変さを理解し臨機応変に対応できていることも強みだと考えています。これからはますます女性が活躍できる職場を目指し、私自身が若手の目標となれるよう尽力していきたいです。